

資質能力	評価項目	生徒	保護者	職員	総合評価	対 策	学校運営協議会委員の皆様のご意見
主体的挑戦力（学力向上部）	基礎的・基本的な学力が身につけている	2.8	3.2	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒たちが「分かる」「できる」「好き」と感じる授業づくりを、南関中授業スタイルを通して一層進めていく。</li> <li>○校内研究を核に、協働的な学びを実現するための授業改善を進める。</li> <li>○「学習の達人5箇条」については、家庭も含め再度周知徹底を図る。「チャレンジ南関中ノート」を使用して再確認する。</li> <li>○家庭学習について、量だけでなく質の向上を図る指導も行っていく。</li> <li>・ノート紹介、ノートコンクール等</li> <li>・各教科ごとに宿題の内容を教室後方の黒板に記入する。</li> <li>・宿題やワークなど先を見通して取り組めるよう、早めに伝える。</li> <li>・授業中に少しでもワークに取りかからせ、すきま時間を使ってできる体験をさせる。</li> <li>・めあての横にワークのページを書くなど早めにより組ませる意識付けを図る。</li> <li>・家庭と協力して、家庭学習の時間の確保を図る。</li> <li>○主体的に学ぶ場の設定（放課後自学、寺子屋教室の利用など）</li> <li>○生徒会や学級会など生徒が自主的に発案し、実施する活動を引き出す投げかけを行う。</li> <li>・教師が具体的に投げかけ、期限を設けて生徒が動くようになるまで待つ。</li> <li>・生徒が呼びかけるなど生徒発信を基本とする。</li> <li>・生徒が得意なこと活躍の場を作る。</li> <li>・NVC（ボランティア活動）の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒たちの様子を見て、素直でいいのですがやや消極的な気がします。もっと活気があってよいのではと思いました。</li> <li>○タブレットの活用が進み、生徒も違和感なく使えています。更なる活用推進をお願いします。</li> <li>○家庭学習の評価が生徒と保護者・職員は差が見られる。差を埋めるにはどうすれば良いか。</li> <li>○一番大事で最も難しい「自ら考え意見が言える」生徒の育成に創意工夫をお願いします。</li> <li>○子ども達の学習へのやる気を引き出すために、様々な職種の方の話を可能な限り聞かせたいです。どんどん学校応援団に要望してください。喜んで対応します。</li> <li>○自学において生徒と先生・保護者の意識の差が見られる。時間だけでなく、学習の取り組みの仕方、要領等生徒自身の自覚とスキルアップが求められると思う。高校進学を含め、学習の意義や必要性等、社会環境変化に伴い、保護者や生徒への再度の啓発、教育が必要と思う。</li> </ul>
	授業は、南関中授業スタイルで行われている	3.3		2.7			
	授業中、自分の考えをじっくり考えたり、友だちと意見を交換したりしている	3.1		2.4			
	「学習の達人5箇条」ができています	2.7	2.9	2.9			
	タブレットや電子黒板を活用した授業ができています	3.6	3.3	3.0			
	授業は、わかりやすく理解できている	3.0	3.1	2.9			
	毎日家庭学習を行っている	3.5	2.7	2.8			
	生徒会活動や班活動を頑張っている	3.0	3.3	2.7			
	国語が好きである	3.0					
	国語が理解できている	3.1					
	社会が好きである	2.9					
	社会が理解できている	3.0					
	数学が好きである	2.8					
	数学が理解できている	2.7					
	理科が好きである	3.1					
	理科が理解できている	3.0					
	英語が好きである	2.5					
英語が理解できている	2.6						
音楽の授業が好きである	3.2						
美術の授業が好きである	2.9						
保健体育の授業が好きである	3.1						
技術の授業が好きである	2.8						
家庭の授業が好きである	2.8						
夢実現力（体づくり部）	自分の将来を考え、目標に向かって学習ができています（キャリア教育の推進ができています。）	2.6	3.1	2.6	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアパスポートを活用し、生徒に自分の成長と自己肯定感を高めると共に自分の夢を持たせる特別活動や総合的な学習の時間を工夫する。</li> <li>○何事にも目標を持たせ取り組みを進める。</li> <li>・1年生からの継続した指導</li> <li>・行事ごとの目標を設定していく。（個人、学級、全体）</li> <li>・様々な職種の方の講話を行っていく。</li> <li>・様々な人のエピソードを紹介していく。（中体連、体育大会など行事ごとに）</li> <li>○体力の向上のため、繰り返し自力での登校を促す呼びかけを行う。</li> <li>○掃除での頑張りを認め、家庭における役割も果たすよう家庭と連携して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掃除や給食の評価が高く、南関中生らしいと感じました。</li> <li>○コロナ禍の中、生徒同士・生徒と教職員のコミュニケーションが取れるよう工夫して欲しい。</li> <li>○職場体験や家族の職業を通して「将来なりたい姿」を描き、学習することの意義や目標を持たせ、達成に向けた努力の大切さを理解させる。</li> <li>○朝食を食べることで規則正しい生活のリズムを習慣付けできるようにする。また、スポーツを通じて体力向上やチームワークの大切さを体感させる。</li> <li>○雨天時の送迎が年々増えてきているのが気になります。小学校もですが、学校に協力的な方の有無に関わらず、我が子可愛さに行動されるので非常に難しいです。継続して自力登校を保護者の方に伝えて言って欲しいです。</li> <li>○体力や健康の維持は生活習慣に他ならないと思います。特に、睡眠時間の確保や食生活の充実は必須だと思う。</li> </ul>
	毎日遅刻せずに自力で登校している	3.2	3.4				
	体力を向上させたいと思っている	3.4	3.0	2.4			
	病気やケガも少なく、健康的な生活を送ることができている	3.0	3.5	2.8			
	登下校時に、交通ルールを守り、安全タスキの着用ができています	3.3	3.8	3.3			
	運動部活動やクラブチームに積極的に参加している	3.0	3.1	2.7			
	運動が好きである	3.0	2.9	2.6			
	学校給食が楽しみで残さず食べている	3.7	3.2	2.9			
	毎日朝食を食べ、望ましい食習慣がついている	3.3	3.5	2.7			
	「掃除」を頑張っている	3.7	2.6	3.2			
絆構築力（心づくり部）	学級にいると心がやすらぐ	3.3	3.1	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての教育活動の中で生徒の良さをその場で「認め・褒め・励まし」自己肯定感を高める指導を継続していく。</li> <li>○道徳の授業では、学年のT T、G Tや管理職が参加するなど活性化を図る。</li> <li>○道徳の授業だけでなく、全ての授業で振り返りを大切にしていく。その中で、自らの成長に気づかせる。</li> <li>また、視点を与えて自学の中で振り返らせる。</li> <li>○行事や学校生活の中で活躍の場を与え、振り返りをさせていく。その中に教師からの励ましのコメントを入れていく。</li> <li>○まず、教職員が元気にあいさつをかけて、気持ちの良いあいさつが返ってきたら褒める。</li> <li>○1分間スピーチの意義を生徒や保護者に伝え、時々内容を保護者に知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒や保護者が安心して学校に通わせている様子が伝わりました。</li> <li>○生徒一人一人が誰かとつながれる環境づくりをお願いします。生徒一人一人の個性を受け止めることができる環境づくり。</li> <li>○STOP「どうせ自分は・・・」STOP「いいな○○さんは・・・」。自分自身を蔑む、他人を蔑む気持ちから脱し、小さな成功体験や他人からの承認で自分自身の存在意義を見出し、何事にも挑戦できる気持ちを大切にします。</li> <li>○時間が可能なら、毎日少しの時間、お互いを褒め合うだけで自分を認められている感じがして自己肯定感を高めるのにつながるのではないのでしょうか。</li> <li>○道徳教育での社会生活の潤滑な考えや、人権教育での常に自分自身はどうなのかと問う姿勢を。自分は「差別をなくす」とともに「差別、いじめをさせない」学習を。</li> </ul>
	先生方から認め、褒め、励まされている	3.0	3.2	3.1			
	自分には、良いところがあると思う	2.8	3.1	2.7			
	毎週、道徳の授業が行われ、充実している	2.5	3.2	2.8			
	道徳の授業で学んだ事は生活で活かしている	3.2	3.0	2.7			
	いじめのない学年・学級づくりができています	3.0	3.1	3.2			
	学年・学級での1分間スピーチは充実している	3.3	3.1	3.1			
	「明るいあいさつ」ができています	3.3	3.1	2.5			
生徒が欠席したときは電話連絡や家庭訪問を行っている。			3.4				
その他	学校や学級は、落ち着いた学習環境である	2.9	3.1	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の私語を慎むなど、話を聞くとときと発言をするときのメリハリをつけ学習規律の徹底を図る。</li> <li>○生徒会活動で花のある環境づくりを進める。</li> <li>○通学路は、学校やPTAなどで定期的に点検し、課題があれば教育委員会や役員と連携し、対応する。</li> <li>○引き続き、通信やHPを活用し情報発信をする。</li> <li>○今後新型コロナウイルスの状況が落ち着くようであれば、徐々に地域の方々の来校を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習環境がよく整えられています。</li> <li>○通学路が美しく整備されていてびっくりしました。（以前は通れない状態でした。）</li> <li>○社会参画の一環としてボランティアへの参加を積極的に実施されてはどうか。社会の一員として他人が喜ぶ姿を見て、自分の喜びを感じることが出来る優しい心を育む。</li> <li>○通学路の危険箇所などを確認するために、学校応援団も何か協力できればと思います。</li> <li>○学校環境の整備、清掃活動はとても大切であり落ち着いた学校生活の基本であると思う。</li> </ul>
	学校は、花・緑であふれた学校である	2.8	3.2	3.2			
	学校は、きちんと整備された美しい学校である	3.5	3.2	3.1			
	通学路は、安心して登下校できるよう整備されている	3.2	2.8	3.0			
	学校は、地域の教育力を活用し連携している	3.1	3.2	3.0			
	学校は、家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくりを推進している	2.8	3.2	3.3			

**表の見方**

十分適切である(3.5以上)

おおむね適切である(3.0以上3.4以下)

課題がある(2.5以上2.9以下)

速やかな改善が必要である(2.4以下)